（論文の種類）一般論文　【日本写真学会誌投稿論文テンプレート 2022\_05\_11版】

上余白　25~30mm

論文題目　○○（I）

副題（あれば）

著者名１、著者名２，著者名３、･････

講演者所属機関

1．日写大学工学部

2．画像大学大学院工学研究科

・・・

所在地

1．東京都千代田区霞が関1-1-1

2．大阪市北区中之島2-2-2

・・・

English title of paper (I)
subtitle

Taro YAMADA1, name 2, name 3, ･･･

Affiliation

1．○○ University ΔΔ

2．

・・・

Location

1．

2．

・・・

左右余白　25~30 mm

ページ番号

下余白　25~30 mm

要旨

○○・・・　レター：250文字以内、　それ以外：制限無し

Abstract

○○・・・　レター：50語以内、　　それ以外：制限無し

キーワード

　○○、ΔΔ、・・・　　5個以内、すべてで40字以内

Key-word

　○○、ΔΔ、・・・　　5個以内、すべてで20語以内

1. 緒言（序論）

研究の背景、研究の動機、目的や、本研究での取り組みなどについて書く。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

文字のサイズは指定しないが、11~12ポイント程度を目安とする。

行間も読みにくくならない範囲で、適宜調整する。

章立ては，1.，1.1，1.2.1のようにして，番号付けする。

1. 実験方法など

本研究で行った研究の方法、実験方法、評価方法などについて書く。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

1. 結果

実験結果、得られた成果を系統的に、図や表などを利用して、わかりやすく書く。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

3.1 図



掲載時に充分に認識できる大きさ
半ページ幅で85 mm、全ページ幅で175 mmとなるのを目安に作成

図内の表示は英語で表記
英文表記にすると主旨が損なわれる場合は編集委員長に相談

図の番号を，Fig. 1，Fig. 2のようにつける。

図の挿入箇所を、原稿右側余白に“Fig. 1挿入”のように記入

Fig. 1挿入

説明文は英語で表記
英文表記にすると主旨が損なわれる場合は編集委員長に相談

説明文は参考文献または脚注の次のページに、番号順に記載する。

3.2 表



掲載時に充分に認識できる大きさ
半ページ幅で85 mm、全ページ幅で175 mmとなるのを目安に作成

表内の表示は英語で表記
英文表記にすると主旨が損なわれる場合は編集委員長に相談

表の番号を，Table 1，Table 2のようにつける。

表の挿入箇所を、原稿右側余白に“Table 1挿入”のように記入

Table 1挿入

説明文は英語で表記
英文表記にすると主旨が損なわれる場合は編集委員長に相談

説明文は表の上部中央に、表番号に続けて記載する。

3.3 数式

文中の数式
本文中では、a/b，exp(－E/RT）のように表記し，二重添え字やeの肩にのる字などは避ける。ただし，理解を混乱させる恐れがあればこの限りではない。

独立した数式
本文中に上下に1行程度の空きスペースをとって明瞭に書き，連続した式番号を付ける。

 $r\left(l\right)=\frac{e^{-w\*}×w\*^{l}}{l!}$ (1)

長大な数式で誤認の恐れがあれば，本文中に上下に1行程度のスペースをとって「別紙，数式（番号）」と書き，別ページに式番号とともに書く。

3.4 化学式，および化合物名

化合物の命名

本文では原則として，化学式ではなくIUPAC命名法に従った化合物名で表記する。ただし，混同の恐れがあれば，この限りではない。

簡単で一般性が高いものは日本語表記でも可，学術用語集に準拠する。

化合物の略記号

化合物に略記号を用いる場合は，本文の初出個所で，正式な化合物名に対応させる。

例： 1-フェニル-5-メルカプトテトラゾール（以下PMTと略記）
あるいは（以下化合物（I）とする）など。

独立した化学式

反応式，構造式等の化学式は，本文中に上下に1行程度のスペースをとって明瞭に書き，連続番号を付る。
長大で誤認の恐れがある式は，本文には上下に1行程度のスペースをとって「別紙，化学式（番号）」と書き，別紙に式番号とともに書く。

1. 考察　（あるいは，結果および考察）

得られた成果の内容等の考察を要領よくまとめて書く。今後の展望などにも触れてください。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

1. 結論

この研究の結論を簡潔にまとめて書く。

結論の項は無くてもかまわない。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

6．謝辞

この研究の謝辞を簡潔にまとめて書く。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

7．引用文献

該当箇所の右肩に通し番号を 1） 2）…のように上付き文字で記す。

文献一覧は別ページに引用文献として一括して番号順に列記する．

学術誌は，引用番号，著者，誌名，巻，ページ，発行年の順に並べ，巻数はゴシック文字、発行年を（ ）でくくる．

読者の助けになると思われる場合，題名を記入してもかまわない。著者の次に“　”で囲って記入する。

誌名は，和文誌は正式名で，欧文誌はChemical Abstracts等に従って略記し，略名が一般的でなければ，正式名で記載

例：1) M. A. Kriss, J. Soc. Photogr. Sci. Tech. Jpn., **59**, 186 (1996).

著者名と誌名が英文でも表記されている和文誌の文献の場合，できれば英文の著者名と誌名を併記する。

例：2) 細井一邦，平野昭裕，日本写真学会誌，Kazukuni HOSOI, Akihiro HIRANO, J.Soc.Photogr.Sci.Tech.Jpn., **62**, 269 (1999).

単行本は，引用番号，著者，書名，版数，編者，出版社，出版地，出版年，ページ（章）の順に並べ，便覧などで担当執筆者が不明の場合は，編者を引用番号のすぐあとに書く。書名は“　”で囲む。

例：3）日本写真学会編，“改訂　写真工学の基礎（銀塩写真編）”，コロナ社，東京，1998, p. 100.

4）J. H. Hamilton, “The Theory of the Photographic Process”, 4th ed., by T. H. James, Macmillan, New York, 1977, p. 108.

Webページを引用する場合は、検索日を記入する。

(改ページ)

8．脚注

脚注をつける本文の字句の右肩に，\*1，\*2，…の記号をつける。

脚注の文章を，別ページとして、それぞれ改行して書く。

\*1　・・・・・・・・・

\*2　・・・・・・・・・

9. 図の説明文

図ごとに説明文を英文で記す。

Fig. 1

・・・・・・・・・

Fig. 2

・・・・・・・・・

(改ページ)

表

(改ページ)

図